

深刻な経済不況のなか 生命と暮らしを守る活動を展開

50人を超す生活困窮者を支援

職を失い、金がない、住む所がないなど切羽詰った相談が相次いでいます。労組・市民団体や日本共産党も入った「市民なんでも相談ネットワーク」と党市議団が連携し取り組んできました。生活保護の申請や住居の確保など市の協力も得て、昨年1年で50人を超す方々に手をさしのべてきました。

中小企業不況対策資金融資制度を実施

厳しい経済状況で苦しむ中小企業の営業と暮らしを支援するため、市は融資を受ける際に必要な保証料を100%補助する「中小企業不況対策資金融資制度」を実施しました。日本共産党は議会で融資制度の改善を求めていました。

子ども医療費を小学校3年生まで拡充

現在未就学時までとなっている子ども医療費の通院分の無料化を、来年度から小学校3年生まで拡充します。

小規模工事登録制度、契約件数は県内トップ

小規模修理修繕契約希望者登録は、市に入札参加登録していない市内の中小零細業者で小規模な修理・修繕で50万円以下、工事では130万円以下が対象です。20年度の実績は川越市が851件で県内トップとなっています。これまでに日本共産党は議会で同制度の拡充を繰り返して指摘してきました。

新年あけまして おめでとーございませう



年頭にあたり、みなさまのご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

昨年、深刻さを増す生活相談と社会保障制度の貧しさに、もどかしさと憤りを感じながらの一年でした。この一年は、国民の声を政治を動かした年だったと感じます。暮らしを壊してきた自公政権は国民自身が選挙で退場させました。新政権の誕生だけでなく、身近な行政の対応も大きく変

地域にも多くの課題

市政ではこの数年で、入間川以西の地域には大きな事業や課題が目白押しとなっています。長年にわたって

西後楽会館は今後も利用できます

昨年末には名細市民センター、川越館跡なども相次いでオープンし、たくさんの方が利用しています。

西後楽会館は今後も利用できます

これまで苦労して稼働してきた西清掃センターは3月で役目を終え、今後は跡地をどうするかが課題です。市は、地域の人たちに意見を聞きながら進めたいとしています。隣接する西後楽会館のお風呂はボイラーを整備し、引き続き利用できるようにします。



名細市民センターの外観
下はプレイルーム



昨年末オープンした河越館跡史跡公園
中央を横切る堀跡、右奥に井戸跡が見える



党市委員会と議員団で市長に予算要望



取り組まれた新清掃センター（資源化センター）はいよいよ4月からの本格稼働が目前となりました。隣接するなぐわし公園の計画も進められています。

今年もみなさんと力を合わせてがんばります 日本共産党川越市議会議員団



佐藤けいし 本山修一 川口ともこ かきた有一

川越にはこれまで築いてきた財産と、たくさんの可能性があります。これらを生かす建設的な提案が行えるように、私自身もみなさんとともに学び、成長できれば幸いです。引き続き、みなさまのご支援を心よりお願い申し上げます。

日本共産党
市議会議員

かきた有一

議会報告
2010新年号

市政・生活相談 ～お気軽にご相談下さい～

自宅 川越市小堤306-5 / 電話 090-7808-9234 / FAX 020-4669-8696

発行 日本共産党議員団 / 連絡先 川越市役所 日本共産党議員団控室
電話 224-8811 (内線3636) / ホームページ <http://www.jcp-kawagoe.jp/>

暮らし、福祉、教育の充実を

日本共産党川越市委員会・市議団が来年度予算で川谷市長に要望しました。

予算編成では、厳しい経済状況で苦しむ市民や中小零細業者をしっかりと守る立場で市政運営をおこなうよに要請しました。



資源化センタープラント内部を視察